



7月17日 高校野球 2 回戦！選手の奮闘に感動の涙！



岩美高校野球部は、2回戦に進出しました。試合は対戦相手の米子北高校先攻で始まりました。最初の回で4点を失いましたが、チームは負けじと一回裏で2点を返し、5回まで2点差で攻めあいました。その後、6回以降は相手チームに少しずつ点差を広げられる展開となりました。

選手たちは一致団結し、最後まで諦めず全力を尽くしましたが、残念ながら逆転することはできませんでした。しかし、いままでの厳しい練習と日々の努力、部活動に対する彼らの情熱が伝わり、感動を与える試合となりました。

試合終了後、選手を代表して野球部主将の大村くんが、会場で応援をしてくれた保護者やサポーター、吹奏楽部、応援団、引率の先生達に感謝の気持ちを込めた挨拶を送りました。涙を浮かべながらのその言葉は、皆の胸に刺さりました。

3年生は、今回が最後の試合となってしまいましたが、彼らの情熱と努力は後輩たちにしっかりと受け継がれています。そして、この経験を胸に刻み、今後も努力と団結の精神を持ち続け、勇気と感動を与える素晴らしいプレーを見せ続けてくれるでしょう。

7月25日 岩美高校へようこそ！～体験入学開催～

本日は、夏の暑さに負けなくらい暑いイベント「岩美高校体験入学」が行われました。今年は生徒と保護者合わせて約130名の参加があり、大盛況のイベントとなりました。

午前9時、体育館での全大会から始まりました。説明では、3年生の永田さんが探究類型について、大村くんがスポーツ類型について、津嘉山さんがフード・福祉類型について、生徒会長の福間さんが生徒会執行部について、それぞれの体験談を踏まえて授業や活動の様子を話してくれました。率直な先輩たちの言葉に、参加した中学生たちは興味深く耳を傾けていました。

その後、授業体験と部活体験もあり、しっかりと高校の雰囲気を味わっていました。



女子バレー部

鳥取県立 岩美高等学校

瓦版

TSUREDURE

岩美高校の日常

～令和5年7月～

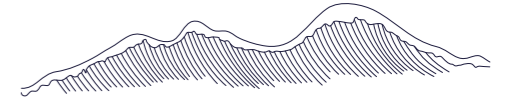
第1号

岩美高校 ウェブサイト



学校ウェブサイトへアクセスすると更に詳しい情報をご覧いただけます。

町の資源を活かした教科 今年も始まりました、海辺の学習！



7月3日 岩美の海を体で感じる★ シュノーケリング授業

今日は、2年2組 スポーツ類型の5人が、シュノーケリング授業を行いました。

この授業では、新しい環境や経験に挑戦する中、新たなスキルや自信を身につけることができます。互いに助け合い、コミュニケーションや協力の重要性を学びながら、不慣れな状況に対処する力や自己管理の能力も養われます。初めてシュノーケリングを体験する生徒も楽しく取り組んでいました。

7月10日 秘密の洞窟を目指しいざ出発！ ～海辺の学習 シーカヤック～

少し風が強く吹いていましたが、2年2組スポーツ類型の生徒たちが、今年2回目のシーカヤック授業を行いました。今日は、地元のインストラクター3名が来てくださり、3つの班に分かれて行動し、秘密の洞窟を目指しました。

シーカヤック授業では、単なる水上の遊びだけでなく、チームワークやリーダーシップの重要性を学ぶことができます。

冒険心をくすぐるこの授業は、今後もスポーツ類型を選択する生徒たちが、自然の中での挑戦を通じて、自身の成長を実感できる貴重な体験の場となることでしょう。

7月7日 海のおもしろさやその重要性を肌で感じる～シュノーケリング体験授業～



スポーツ類型3年生の今年初のシュノーケリング体験授業は、まず2年生で習った道具の使い方や歩き方、シュノーケルを使った呼吸の仕方や水の抜き方、フィンの使い方を復習するところから始まりました。インストラクターさんの丁寧な指導を、生徒たちは真剣な表情で聞いていました。40分ほどの周遊では、学んだ技術を活かして、海の中を自由に泳ぎました。

授業を通じて、海のおもしろさやその重要性を肌で感じ、環境への関心や自然を尊重する心が養われます。また、リラックスした状態で泳ぐことでストレス解消にもつながり、心身の健康促進にも役立ちます。

7月20日 生徒のアイデアが商品化！～イワッツミッションの取組が実る～



昨年のイワッツミッションで食をテーマに選んだ、現在3年3組の伊澤さん、澤さん、福井さん、石橋くん、河口くん。授業の取組で、岩美町にある「cafe bloom(カフェブルーム)」さんに、岩美八宝をつかったスープとベーグルサンドのレシピ提案と、学校にある廃材を使ったリサイクル椅子を製作しました。そして、生徒たちの熱い提案を受けて、ベーグルサンドが商品化されることになり、カフェブルームのお二人を岩美高の調理室にお招きして、発売前の試食会を生徒と一緒に行いました。

学生が提案したレシピからヒントを得て開発されたのが、「もさえびのグラコロベーグルサンド」!!! とろとろのコロッケの中にえびがゴロっと入り、風味と食感が抜群のドライえび殻を挟んだサンドはボリューム満点。

岩美高校の探究学習(イワッツミッション)の地域の課題を見つける取組において、生徒たちの岩美の自然に対する感謝の思い、食で地域を明るく元気にしたいという思い、特色を生かして魅力を発信したいという思いに共感をいただき、今回の商品化が実現することになりました。

こちらの「もさえびのグラコロベーグルサンド」浦富のトレーラー cafe bloom(カフェブルーム)さんで、9月上旬に発売される予定です。



7月1日 大盛況! 岩美高校のプールで書道イベント開催!

プールサイドで書道 一般の観光客には、珍妙に聞こえるこのイベントですが、一部の方には、刺さるタイトル! 前日の大雨で開催が心配されましたが、小雨の降るなかイベントはスタート。開始の10時から13時まで、3時間のイベントには65名が訪れ、書道と写真撮影を楽しんでいました。

関東や九州など、遠方から足を運ばれた方も多く、大盛況のイベントとなりました。来場者は、それぞれの思いの丈を書きぶつけ、楽しんでいる様子でした。部活に来ていた、陸上部の生徒と森本教諭も参加してくれました。

7月4日 災害にそなえて避難訓練

本日は、地震とそのあとの津波を想定した避難訓練を行いました。地震と津波に備えて、安全な避難経路や避難方法を確認し、防災や命の保全について関心と意識を高めてもらうのが訓練の目的。放送から、点呼が終わるまで、3分37秒。慌てず、しゃべらず、速やかに避難できていました。



7月4日 ジャマイカの高校生とオンライン交流! ~ ONE LOVE を BIG LOVE に! ~

鳥取県の国際交流事業の一環として、ジャマイカのリトルロンドン高校と岩美高校の生徒13名が、オンラインで交流をしました。ジャマイカと日本は14時間の時差のため、日本時間は朝9時、ジャマイカは夜の7時です。今回参加した生徒は、岩美町が岩美高校生を対象として運営している英語塾「町営塾ハローイワッツ」に参加しているメンバー。

約50分間にわたる交流会は、お互いの国や文化を知るクイズから始まりました。両校を紹介するセッションでは、2年生の上田優志君と谷口來煌君が代表してプレゼンをしました。岩美町の観光地や特産品などの魅力と岩美高について紹介。学校紹介では、部活動や学校生活、そして、情報処理や手話といった特徴ある科目の紹介をしました。

少し緊張が解れたところでグループに分かれ自己紹介や準備した質問で会話を楽しんでいました。ジャマイカの生徒たちも日本の文化に大変興味を持っており、高校生らしい質問が飛び交いました。

今回の交流会に対して感謝の気持ちとして、岩美高校吹奏楽部がジャズ演奏を披露しました。ジャマイカの生徒たちは心から音楽を楽しんでいる様子でした。



7月4日 挑戦の舞台へ! 女子バレー部&野球部壮行会



夏の大会を目前に、本校女子バレー部と野球部の壮行会が体育館で行われていました。

生徒を代表して、生徒会長の福間未来さんが「みなさんの普段の練習の成果を発揮でき、一生の思い出になるように願っています」と応援メッセージを送りました。

辻中校長からは、「3年生にとっては、今度の大会が3年間の集大成。みなさんの持っている能力を信じ、出し尽くせば、きっとしっかりと通用するでしょう。」と激励の言葉がありました。

最後に、吹奏楽部が、力強い演奏でエールを送りました。

7月7日 港カフェで 岩美名物バーガーに舌鼓



3年3組 フードタイプの5名が、岩美町にある「港カフェ」を訪れ、地元の特産品を使ったハンバーガーと岩美をイメージした美しいサイダーの試食を行いました。

イカ炭バンズにホタルイカのフライをはさみ、ラッキョウのタルタルソースがベストマッチのホタルイカハンバーガーは、一味違う美味しさを楽しむことができ、生徒たちから大きな喜びの声が上がりました。岩美ブルーが美しいサイダーは、ハンバーガーとの相性も抜群。

地元のカフェを訪れ、特産物を使ったメニューを食べることで、生徒たちは地域の食材に触れ、関心を高め、可能性や魅力に気づき、自分たちならではの料理のアイデアを生み出す参考にしていくでしょう。そして、生徒たちのよい思い出となりました。



7月5日 自分の興味と向き合って探究テーマを考える

1年生と2年生は、7限目を活用して探究学習に取り組みました。本日の重要な要素は、テーマの設定です。1年間にわたる探究学習の取り組みにおいて、テーマの設定は非常に重要なポイントとなります。

既に、興味のある分野に基づいてグループが形成され、各グループはその分野の中で特に関心や興味のあるトピックについて、ボードやPCを使ってKJ法を活用し意見を出し合い追求していきました。

グループによっては、ホワイトボードが付箋でいっぱいになるほどアイデアが溢れているグループもありましたが、一方で苦戦しているグループも見受けられました。しかし、全てのグループが創造力を発揮し、真剣にテーマの設定に向き合って取り組んでいました。



7月7日 1年2組のグループ発表～ジオパーク学習～



ジオパーク学習に取り組む1年生、今日はグループ発表を行いました。持ち時間は5分。限られた時間の中で、生徒たちは、自分たちの調査結果を一丸となって発表することに挑戦しました。

1年2組では、「商業」と「社会」のテーマがあり、テーマごとに4人のグループにわかれ、それぞれが発表の一部を担当。本日のために熱心な調査と準備を行いプレゼンテーションに臨みました。

プレゼンテーションでは、パワーポイントのスライドを駆使してグループが行った調査のポイントや重要な結果をグラフや写真などを効果的に用い、他のグループにわかりやすく伝えていました。

7月20日 ALT グレググさん離任式～お互いに感謝を込めたお別れ会～



終業式の後、ALTのグレググさんの離任式がありました。グレググさんは、7月に任期を終えられ、母国のジャマイカに帰国されます。生徒と会うのが今日で最後となるグレググさんは、岩美高での学校生活を振り返り、日々の感謝と「自分で限界を決めず、自分を信じて挑戦してください。」という応援の言葉を日本語で伝えられました。

式の後、グレググさんと共に部活動で活動してきたESSのメンバーは、彼への感謝と思い出を伝えるために、寄せ書きと活動の記念写真を贈りました。

グレググさんの素晴らしい教育姿勢と熱心な指導は、生徒達の学ぶ意欲を高め、自信を持つ力を育てることに繋がりました。

7月18日 表計算ソフトを使って社会で役立つスキルを磨く

今日は、観光・スポーツ類型の授業、3年2組の総合実践を紹介します。

3年2組の総合実践の授業は、表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析の仕方の学習でした。加藤教諭が指示する条件をソフトで計算式をつかいつつながら処理を行っていきました。

表計算ソフトは、ビジネス界で広く使われており、会計、財務、市場調査、プロジェクト管理など、データを効率的に整理し、分析することが可能となり、さまざまな分野でとても役に立ちます。高校生のうちに基礎を学び、資格を取得することは、将来の就職やキャリアの選択肢を広げるために非常に有益です。



7月18日 経理業務の理解が深まる～簿記授業～

2年3組の観光・スポーツ類型 簿記の授業を紹介いたします。普通科高校でありながら、商業科目の簿記が学習できるのは、岩美高校の魅力の1つ。

商品の消費・流通などの状況や、産業のしくみなどを理解し、経済社会に対応していけるスキルを身につけます。

木下教諭の指導のもと、会社の経理上、日々の取引を記録し、財務諸表を作成するなど、実際の業務に即した演習が行われます。これによって、現実の経理業務に対する理解が深まります。

生徒たちは、練習問題を通じてエラーを見つけ、修正する経験を積むことで、正確性や注意力を高めることができている。



7月11日 就職ガイダンス～楽しいアクティビティで自己を振り返る～



高校3年生に向けた、将来の進路をサポートする就職ガイダンスが行われました。講師は、レックリーガルマインドの原田さん。

はじめに、現在の高校生の就職事情や求人倍率についての説明がありました。「就職活動は夏から本格的に始まるので、夏休みの間には、3社ほど企業訪問に出かけてみましょう。」とアドバイスがありました。



企業訪問や面接においては、相手に与える印象が非常に重要です。そのため、挨拶やお辞儀の仕方など、大切なマナーや印象づけの方法について指導がありました。また、ガイダンスでは非常にユニークなアクティビティも行われました。3～4人のグループに分かれ、仮想の会社を設立し、グループの中から社長と副社長を決め活動開始。

その会社の業種や会社名を決め、会社の特徴を発表しました。どのグループも自分たちの会社を熱く語り合い、お互いのPRのユニークさに笑いがおこっていました。



さらに、架空の求職者AさんからFさんの資格や人柄を考慮して、最終的にどの人を採用するか、採用の理由も発表しました。このアクティビティを通じて、自分たちが経営者の場合、どのような人物を採用するかを考えることで、自己のマナーや姿勢を振り返り気づきにつながりました。



午後からは、実際の面接を想定した自己紹介の作文を作り実践的な体験を積みました。これにより、生徒は面接のリアルな場面をイメージし、対応策を練習することができました。

7月3日 共に楽しむ、心躍る
レクリエーションを体験



本日の2年3組の介護福祉実習は、鳥取社会福祉専門学校から講師の鎌谷さんを迎えて、高齢者や障がいのある方と楽しめるレクリエーション授業をおこないました。

レクリエーション支援を行う際、お互いの気持ちを通い合わせるために、「笑顔」はとても大切な要素だと学び、生徒たちはグループに分かれて、笑顔の伝達ゲームをおこない、笑顔もたらす効果を学びました。


6限目は、心を元気にする手段として、いくつかのゲームや体操を実際に行いました。



体操では、指の体操を楽しいリズムの歌にあわせて楽しんだり、ゲームでは、じゃんけん勝負ですき焼きづくりに必要な材料カードを集める「すき焼きじゃんけん」を行い、生徒たちは大変盛り上がっていました。

これらのゲームや体操は、対象者が子供や高齢者でもアレンジ次第でどちらも楽しめるものにでき、相手の様子に合わせて判断し楽しく雰囲気づくりができると鎌谷さんから学びました。



7月10日 笑顔を引き出す
レクリエーション 



鳥取社会福祉専門学校から講師の鎌谷さんをお迎えして行う「高齢者や障がいのある方と楽しめるレクリエーション」授業は、今回で2回目。2年3組の介護福祉実習は、今日も笑顔と活気にあふれていました。

本日のポイントは、前回体験したアクティビティを、利用者の状態に合わせて柔軟にアレンジすること。利用者の中には、俊敏に身体を動かすのが困難な方がいる場合があり、状況を見極めて活動内容を変更していくことを心掛け、楽しく快適にレクリエーションを行えるように工夫しましょう。というものでした。

体験したのは、桃太郎じゃんけんや、カラーボール転がし、サイコロ消しゲームといった盛り上がるレクリエーション。どのゲームも共通して、みんなが参加でき、結果が能力によるものではなく、予想できないものだからワクワク感が増す。それが、笑顔を引き出すことにつながるということが実感できました。

講師の鎌谷さんには、楽しい活動の中に、介護福祉に必要な要素のクエスチョンを盛り込み、生徒たちが体験を通して答えを見つけられるように指導いただきました。



介護福祉実習 笑顔を導くレクリエーションづくり

7月26日 進学試験対策セミナー 町営塾 Hope-夏- 本日から3日間開講!



今年で4年目となる、夏のHope（進学試験対策セミナー）が、本日より開講しました。参加希望の生徒は、例年を上回る52名。大賑わいのスタートとなりました。

今回は、学習指導に鳥取大学から3名の現役大学生がきてくれました。工学部の國清さんと藤村さん、農学部の西村さんです。生徒たちは積極的に手を上げて、指導をうけていました。

午前中3時間の自習学習の後、25分間の講話がありました。指導にきてくれた3名の大学生から、目標設定の仕方や、記憶のメカニズム、入試の体験談など様々なお話を聞くことができました。

生徒たちは、現役大学生の生のメッセージをととても真剣に聞いていました。

第二部の座談会では、昨年岩美高校を卒業し現在県内の大学に通う、安井さん、浅井さん、谷岡君3名も加わり、テーブルを囲んで楽しい会話が繰り広げられました。

大学進学に向けて高校時代にやっておくべきアドバイスや大学生活のこと、サークルのことなど、次々と質問を投げかけていました。

午前の学習、午後の座談会と充実した1日目となったようです。



7月19日 岩美中学 ALT マデリンさんへ感謝の言葉を贈りました
～町営塾ハローイワッツ～

町営塾ハローイワッツ（英語塾）で指導を担当してくれた岩美中学校 ALT のマデリンさんが、1学期で離任されることとなり、ハローイワッツのメンバーが、感謝の気持ちを込めた寄せ書きを贈りました。

マデリンさんの授業は、クイズなどの楽しいウォーミングアップから始まり、会話を中心とした授業で、生徒たちは毎回和やかな雰囲気の中で進んでいく授業の中、英語の表現を学習していました。

受け渡しの際、2年生の谷口君が「楽しいレッスンをありがとうございました。これからも英語を勉強して話せるようになりたいです。」と英語であいさつし、マデリンさんも「ありがとうございます。高校生に教えられて、私も良い経験ができました。これからも新しい ALT の先生とがんばって英語を学習してください。」と言葉を返してくださいました。

